

人と人との関係が希薄化した社会にこそ・・・

男も家事な人大集合!!

スーパー主夫
山田 亮さん
(やまだ りょう)

おもかじ
～山田 亮流 “男も家事いっぱい”～



撮影 佐藤敬



家庭の男女共同参画 — 大切なのは共感しあえる関係

結婚式のスピーチに「夫婦で『人』という字のようにお互いを支え合って」という話があります。この「人」という文字は、そのまま夫は外で稼ぎ、妻は家事や子育てを分担するという構図にあてはまります。

僕は、この「人」字型な関係から「M」字型へのシフトを提案しています。一人一人が仕事と生活のバランスを保ちながら「I」字型に両立し、その上でお互いが手をつなぎあう「M」字型な関係です。これは、お互いが一人でも十分生きていけるけど、敢えて一緒にいると心地いいという気持ちがあればこそ成立する関係です。

仲良く過ごすために、「お互いの領域は立ち入らない」のではなく、「共同」する方向を考えてみてはどうでしょうか？人と人との関係が希薄化した社会といわれています。せめて夫婦の間くらいは、意識的に共同する機会をもちあって、「美味しい!」「キレイになった!」「大きくなったなあ」など、たくさん共感しあえる関係でありたいですね。

「家事なんてしたことないし…」という人もいます。家事は大げさな事ではなく、小さな事の継続が一番大切です。服を脱ぐ時に、両袖の表裏をそろえ、ポケットの中のティシューペーパーやレシートを出す。読んだ新聞はキッチンと片付ける。食べ終わった食器はすぐに片付ける。「はじめの一步」はこの程度の「家事を増やさない家事」でも十分役に立つのです。

P R O F I L E



山田 亮 プロフィール

1967年、香川県、高松市出身。
大阪市立大学商学部卒業、サラリーマンを経て、
佛敎大学大学院在学中に結婚し、主夫になる。
現在は、男性の家事・育児参加、男女共同参画、
ワークライフバランスに関する講演や執筆で活躍中。
「プロ主夫山田亮の手抜き家事のススメ」(宝島社)発売中。

Vivisimo輝き! 9号掲載 発行:奈良県生活環境部男女共同参画課